

令和7年度 事業計画・予算

岩手県社会福祉協議会では、「活動計画2024-2028（第4期）」に基づき、「地域福祉を推進し、誰もが住み慣れた家庭や地域で、共に支えあい、自分らしく、安心して生活することができる、豊かな福祉社会の実現」に向けて、事業を展開しています。

令和7年度の主な取組を紹介します。

基本姿勢

- 県民一人ひとりの尊厳を守り、社会環境の変化に即応する事業に挑戦します。
- 幅広い関係者との連携・協働を進めます。
- 経営基盤の強化と透明性を確保し、より高い目標を掲げて向上、発展します。
- 高い専門性、強い責任感、熱意と人を思いやる心を持つ職員を育成します。

〈基本目標及び推進項目〉

I 福祉を支える人づくり

- 推進項目① 地域福祉を担う人材の育成
推進項目② 地域福祉の意識の醸成

II 福祉サービス提供の基盤づくり

- 推進項目① 地域における相談支援体制の構築
推進項目② 権利擁護の推進
推進項目③ 総合的な福祉サービス情報の提供と
サービスの質の向上

III 福祉サービス提供の仕組みづくり

- 推進項目① 生活に困難を抱える方への支援
推進項目② 家族等への支援

IV 福祉でまちづくり

- 推進項目① 地域福祉活動における住民活躍の仕組みづくり
推進項目② 多様な担い手（主体）による地域福祉活動の取組
推進項目③ 地域福祉活動における多様な財源の活用

V 被災経験を活かした支援体制づくり

- 推進項目① 東日本大震災津波の被災者への支援
推進項目② 今後の災害への備え

VI 組織・活動基盤の強化

- 推進項目① 組織体制の強化
推進項目② 経営基盤の強化

VII 指定管理施設の管理・運営

- 推進項目① ふれあいランド岩手管理運営



〈事業計画の概要〉

I 福祉を支える人づくり

良質な福祉サービスを提供できる人材や、ニーズに対応した多様な地域福祉活動の担い手の確保・育成を図るとともに、住民の福祉に対する意識の醸成を通じて福祉を支える人づくりを推進します。

● 福祉人材センター運営事業
〔県受託金：24,911千円〕

II 福祉サービス提供の基盤づくり

身近なところで気軽に相談ができる体制の整備や、権利擁護の取組など、福祉サービス提供の基盤づくりを促進します。

● 岩手県福祉コムニティサポートセンター事業

(県補助金・共募配分 : 3,157千円)
[地域福祉企画部]

III 福祉サービス提供の仕組みづくり

高齢者、障がい者、児童、生活困窮者などの領域別のフォーマルな福祉サービスのみならずインフォーマルな支援も含めた福祉サービス提供の仕組みづくりを促進します。

● 生活福祉資金貸付事業

(県補助金 : 3,291,004千円)
[地域福祉企画部]



IV 福祉でまちづくり

住民が主体的に地域の福祉課題の解決に取り組む基盤づくりや、多様な福祉活動を開催するボランティア・NPOの支援、社会福祉法人などの民間団体・企業等による地域貢献活動の促進により、住民が主体となつた「福祉でまちづくり」を進めます。

● 災害ボランティアセンター等機能強化事業

(県補助金 : 3,543千円)
[地域福祉企画部]



V 被災経験を活かした支援体制づくり

東日本大震災津波の被災地域では、復興事業が進む一方で、被災された方の高齢化や孤立化、地域の担い手の減少が懸念されるなど、依然として多くの課題が指摘されていることから、今後も中長期的な視点により支援を継続していきます。また、平成28年の台風10号災害など、自然災害が繰り返し発生している状況であるため、東日本大震災津波における支援の経験を活かし、今後の災害への備えを進めます。

● 東日本大震災被災者生活支援事業

(国補助金 : 203,304千円)
[地域福祉企画部]



VI 組織・活動基盤の強化

基本理念及び基本目標の実現に向け主要事業を計画的に推進するため、組織体制と基盤の強化を図ります。

● 岩手県社会福祉大会の開催

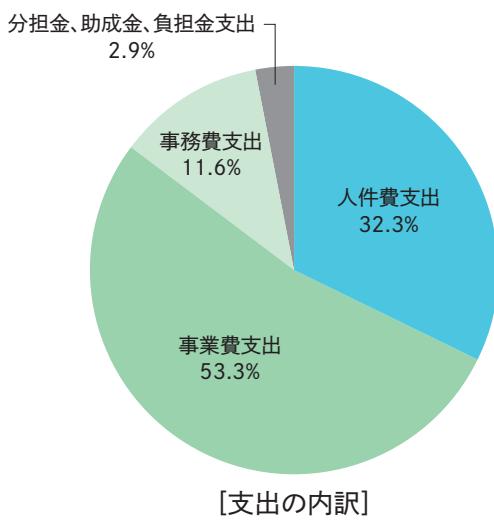
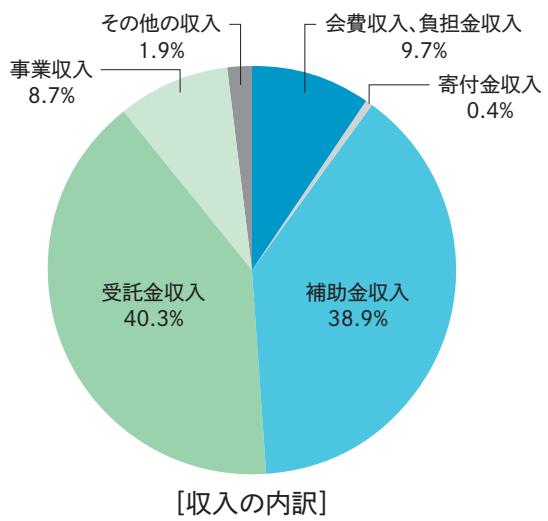
[総務部、地域福祉企画部]



VII 指定管理施設の管理・運営

県指定管理施設「ふれあいランド岩手」の管理運営を行い、スポーツ及び文化活動を通じて障がい者や高齢者をはじめとする全ての県民が健康で生きがいをもつて暮らせるように支援します。

一般会計における事業活動収入及び支出の内訳 [令和7年度予算]



令和7年度 収支予算(サービス区分)の主な内容

【一般会計：社会福祉事業】

(単位：千円)

拠点区分・サービス区分	R7 当初予算額	R6 当初予算額	増 減	備 考
1 法人運営事業	203,848	206,789	△ 2,941	
2 地域福祉活動推進事業	317,073	348,249	△ 31,176	対象世帯数の減少に伴い、市町村社協への生活支援相談員の配置減となります。引き続き東日本大震災の被災者への見守り支援の強化に取り組みます。
3 ボランティア活動振興事業	5,161	6,630	△ 1,469	
4 民生委員活動推進事業	13,642	10,616	3,026	本年度一斉改選を踏まえ、退任慰労金支給申請の取りまとめを進めます。
5 共同募金配分金事業	10,078	10,078	0	
6 社会福祉従事者研修事業	28,244	26,389	1,855	キャリアの各段階に応じて必要となる知識・技術の習得や専門資格の習得を目的とした研修に取り組みます。
7 種別協議会事業	83,243	91,577	△ 8,334	
8 福祉人材センター事業	81,763	77,466	4,297	質の高い福祉サービスの提供に不可欠な福祉人材の確保を図るため、福祉の仕事に関する求人・求職や情報の提供を進めます。
9 日常生活自立支援事業	111,473	110,656	817	成年後見中核機関への移行により、成年後見推進コーディネーター数が減りますが、引き続き必要な方が制度を利用できるよう取り組みます。
10 福祉サービス運営適正化委員会事業	11,562	11,001	561	
計	866,087	899,451	△ 33,364	

【一般会計：公益事業】

(単位：千円)

拠点区分・サービス区分	R7 当初予算額	R6 当初予算額	増 減	備 考
1 ふれあいランド岩手管理運営受託事業	253,031	262,031	△ 9,000	昨年度に引き続き、コロナ禍で減少した利用者数の回復を図ります。
2 福祉人材確保等貸付事業	326,761	301,084	25,677	質の高い福祉サービスの提供に不可欠な福祉人材の確保・定着を図るため、介護福祉士等修学資金等の福祉人材確保等貸付事業に取り組みます。
3 民間社会福祉事業職員共済事業	3,706,411	3,543,701	162,710	
4 福利厚生センター事業	10,461	7,462	2,999	
計	4,296,664	4,114,278	182,386	

【生活福祉資金会計】

(単位：千円)

会 計 名	R7 当初予算額	R6 当初予算額	増 減	備 考
1 生活福祉資金会計	2,926,584	2,956,150	△ 29,566	昨年度に引き続きコロナ禍を通じて増加した借受人のフォローを着実に進めるため、R5に積み立てた事務費10年分を活用し体制の強化を図ります。
2 生活福祉資金貸付事務費会計	289,639	287,621	2,018	
3 要保護世帯向不動産担保型生活資金会計	70,766	53,805	16,961	
4 臨時特例つなぎ資金会計	8,858	8,979	△ 121	
計	3,295,847	3,306,555	△ 10,708	